

はやて号

E2系 東北新幹線



デビュー：平成9年
最高速度：275km/h
運行区間：東京～新青森間

第130号

発行日：平成26年11月1日
発行者：福田脳神経外科病院
院内情報委員会
(☎0952-29-2223)

診察室から

～ 顔面けいれん ～



院長：田口 明

顔の筋肉が不随意に（無意識に）動く病気があります。通常痛みはなく顔の片側に起こることが多いので、「片側顔面けいれん」と呼びます。典型的な症例は、目の周りの筋肉のぴくつきで始まり、徐々に同じ側の顔面全体に及びます。

会話をしたり食事をしたりすることで誘発され、進行すると読書や運転などの生活動作に支障をきたすようになります。中年以降の女性に多く見られます。原因として最も多いのは、脳血管に加齢現象である動脈硬化が起こり、蛇行して顔面神経に接触し刺激が加わることです（前々回説明した三叉神経痛（顔の痛み）の原因と同様）。

神経への刺激が、血管の接触以外に腫瘍が発生して起こる場合もあります。治療の原則は開頭術を行い、神経と血管が接触している部分を遊離させるなど、腫瘍を取り除いて神経への刺激を断つことです。過去10年間に当院でこの手術を4例経験しました。

けいれんは3例で完全に消失、1例は軽快しています。手術以外の方法にボツリヌス毒素を顔面の筋肉に注射し、筋弛緩を起こさせて止める方法があります。この方法は2000年から保険適用となっており、高率で症状改善が望めるようです。

対症療法なので症状が再び悪化した場合には再度注射をする必要がありますが、自然寛解を誘導する可能性があり、今後さらに増えてくると考えられます。





インフルエンザを予防しましょう

インフルエンザは例年12月～3月頃流行します。予防接種後ワクチンの効果が表れるまでに2週間ほど要します。効果は5か月程度と考えられていますので、年内の接種をお勧めします。

～インフルエンザにならないためには～

十分な栄養と休養・・・・・・・・・・体力をつけ抵抗力を高めましょう。



人ごみを避ける・・・・・・・・・・ウイルスを寄せ付けないようにしましょう。

外出後の手洗い、うがいの励行・接触による感染を防ぎます。

うがいは乾燥を防ぎウイルスの侵入を防ぎます。

適切な温度、湿度を保つ・・・・・・・・・・空気が乾燥するとウイルスが活発に活動します。

ウイルスは低温低湿を好むため、加湿し、適温適湿を保ちましょう。



マスクの着用・・・・・・・・・・咳やくしゃみなどによる飛沫感染を予防します。

当院では・・・

- 外来 ★待合室でお待ちの患者様に対し、マスクの着用をお願いしております。
- ★インフルエンザを早期発見し、迅速に対応するために体温測定を実施しております。
- 病棟 ★咳や咽頭痛、鼻水、鼻閉、発熱などの風邪症状がある方、妊娠されている方、乳幼児の方は面会を制限させていただいております。
- ★面会前後の手洗い・うがい、マスクの着用、アルコール製剤での手指消毒を徹底しております。

予防接種お済ですか？

インフルエンザの流行の季節に入りました！

予防接種は、**発症予防**もしくは**重症化予防**に有効とされています。

個人の予防の為だけでなく**集団感染の予防**にもつながります。

予防接種は流行る前に接種しましょう。

予約なしでも接種可能です。

※65歳以上の方の公費負担は26年12月末日までとなっております。

詳しくは、受付窓口または看護師にお尋ねください。





おくすりの話 ～ くすりの飲み合わせについて ～

薬は病気を治すために必要なものですが、飲み方を間違えると危険なこともあります。

《 1 》 薬の効き目が必要以上に強まる場合

《 2 》 薬の効き目が弱まり、治療効果が上がらない場合 など。

今回は 《 1 》 のケースについてお話します。

① 類似した成分の薬の飲み合わせ

よく似た作用の薬を一緒に飲むと効き目が強くなりすぎて、体調を崩したり、内臓障害を引き起こしたりすることがあります。一般的に、**解熱鎮痛剤、消炎剤、咳止め薬、睡眠改善薬**などにはよく似た成分が含まれている場合があります。

② 薬の分解を妨げる飲み合わせ

飲み薬は肝臓で分解され、適度な濃度になって効果を発揮します。ところが、片方の薬がもう一方の薬の分解を妨げてしまうと、分解されなかった方の薬の効き目が強くなり、効きすぎて副作用が起こることがあります。**異なる医療機関にかかっている場合や市販の薬を一緒に服用する場合には十分な注意が必要です。**

どの様なお薬を服用しているか、きちんと把握することで副作用の軽減などに繋がります。ご協力お願いします。

不明な点など、ご遠慮なくお尋ね、ご相談ください。

研修会参加報告

～感染対策に必要な基礎知識を学ぶ～



感染源である菌やウイルスは目には見えないからこそ予防が大切です。病院には菌などが多く存在しており、それに加えて病院で入院生活を送る患者さんは抵抗力や免疫力の低下がある為、感染リスクが高い状況にあります。ですから菌やウイルスを排除するため消毒をする必要があります。手指衛生の目的や根拠を理解したうえで必要な時に、必要な手指衛生が行えるように意識しながら感染予防に取り組まなければならないと思いました。(看護師 I. S.)

毎日の業務の中で行っている手指衛生のタイミング、防護具の着脱の仕方など振り返るいい機会とおなりました。患者さんの為だけでなく、医療従事者が媒体をならないためにも必要だと思いました。研修で学んだことを活かし、感染予防に取り組んでいきたいです。(看護師 S. J.)

衛生的手洗いと擦式アルコール製剤の必要性を改めて学ぶことができました。患者さんに接する前後、1つ1つの作業前後に行う必要があります。手指衛生を行うことで交差感染から守るとともに、医療従事者自身も病原微生物から守ることができます。個人防護具についても処置・ケアを行う時にどのような防護具が必要かを再確認することができました。研修で学んだことを今後の業務に活かしていきたいです。(看護師 S. A.)



体育祭ありました



9月29日(日)佐賀市医師会立看護学校の体育祭がありました。



去年は雨が降り昼で終わった体育祭も今年は晴天で楽しく参加することができました。どの競技も勝てなかった去年とは違い、今年はみんなで協力し合い、準優勝でした。来年は今年以上に頑張って優勝目指します!!(看護学生 M. M.)



私はムカデ競争と綱引きに参加し、けがもなく無事に競技を終えました。他にはクラス対抗リレー、玉入れ、ダンス等の競技があり、とても盛り上がりました。暑い日となりましたが、天候にも恵まれ、クラスの皆と楽しく過ごすことができました。(看護学生 T. A.)

病院の車がかわりました

12年間ともに頑張った“軽くん”と涙の別れをし、新たな仲間を迎え入れました。

以後、お見知りおきをお願いします。名前は“きんちゃん”です。

